
もしも声優が小野大輔の場合

桜の園

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もしも声優が小野大輔の場合

【Nコード】

N6148Z

【作者名】

桜の園

【あらすじ】

主人公の男性と幼い頃の奈々と健太の偶然なる出会い
そして10年後？！

(前書き)

気まぐれ投稿です

今日彼女に振られた「アンタつまんない」と
そして惨めな自分は公園にいた

「お兄ちゃん、それ取ってー」

「・・・こつち来て二人とも」

小さな女の子が言っているのはきつと花の冠だ
きつと隣の男の子にあげるんだろうな

「「なーに？」」

「今ね、お兄さん機嫌悪いのわかる？」

「えつと・・・わかりませんでした」

「そっかーそうだろうね・・・男の子ちょっと」

「うん？何？」

【リア充爆破してね】

「うつ・・・怖くないもん！！！！いつ行こう！！！！」

「でも冠が・・・」

「また作ってやるよ」

「分かった」

「べっーーーーー！！！！だ！」

今一瞬にして思えたこと一つ

「子供を泣かすって楽しいな」

そして男の子が作った花の冠を握り潰した

10年後

「奈々こつち」

「健太話って何？」

「何か小さい頃知らない人にリア充爆破しろって言われた気がする
んだよね」

「うんで泣きながら健太が帰っていったの覚えてる」

「嘘？！ってチャイムなる！！」

「座ろう!!!」

「初めまして・・・では自己紹介を」
奇跡が舞い降りた

（後書き）

小野大輔さんのイメージを壊したらすいません
自分的に心霊探偵八雲の斉藤八雲のイメージで作りました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6148z/>

もしも声優が小野大輔の場合

2011年12月20日17時51分発行